

第 4 回 館山市議会定例会会議録

(第 4 号)

1 平成7年12月21日(木曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 25名

1 番	辻田	実	2 番	本橋	亮一
3 番	三上	英男	4 番	小幡	一宏
5 番	忍足	利彦	6 番	鈴木	順子
7 番	斉藤	実	8 番	増田	基彦
9 番	島田	保	10 番	宮沢	治海
11 番	秋山	光章	12 番	植木	馨
13 番	脇田	安保	14 番	永井	龍平
15 番	山崎	雅己	16 番	鈴木	忠夫
17 番	岩村	勝弘	18 番	日下	君敏
19 番	川名	正二	20 番	神田	守隆
21 番	山中	金治郎	22 番	榎本	春光
23 番	石井	昌治	24 番	福原	勤
25 番	飯田	義男			

1 欠席議員 なし

1 出席説明員

市 長	庄司	厚	助 役	小幡	清之
収 入 役	川上	義雄	企 画 部 長	永野	修
総 務 部 長	神子	純一	市 民 福 祉 部 長	渡辺	富雄
経 済 環 境 部 長	小沼	晃	建 設 部 長	三平	孝司
水 道 課 長	谷貝	実	教 育 委 員 会 長	高橋	博夫
選 挙 管 理 委 員 会 長	加藤	利	選 挙 管 理 委 員 会 長	寺嶋	清
監 査 委 員	山田	教和	監 事 局 長	田村	哲也
農 業 委 員 会 長	斉藤	明	農 業 委 員 会 長	佐久間	宏

1 出席事務局職員

事務局長 兵藤 恭一

事務局長補佐 鈴木 哲

書記 四ノ宮 朗

書記 安田 仁一

書記 小山 真

書記 松浮 郁夏

1 議事日程（第4号）

平成7年12月21日午前10時開議

- | | | | |
|------|---|--------|-------------------------------------|
| 日程第1 | { | 議案第54号 | 政治倫理の確立のための館山市長の資産等の公開に関する条例の制定について |
| | | 議案第55号 | 館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について |
| | | 議案第56号 | 工事委託協定の変更について |
| | | 議案第57号 | 平成7年度館山市一般会計補正予算（第3号） |
| 日程第2 | | 議案第58号 | 平成7年度館山市老人保健特別会計補正予算（第1号） |
| 日程第3 | | 議案第59号 | 平成7年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第1号） |
| 日程第4 | { | 請願第1号 | 学習指導要領の抜本的見直しを求める請願書 |
| | | 請願第3号 | 「義務教育費の国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書 |
| | | 請願第4号 | 「教育予算の増額に関する意見書」採択に関する請願書 |
| 日程第5 | | 請願第5号 | タヌキ・アナグマの徹底駆除に関する請願書 |
| 日程第6 | { | 議案第60号 | 館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について |
| | | 議案第61号 | 平成7年度館山市一般会計補正予算（第4号） |
| | | 議案第62号 | 平成7年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第2号） |
| | | 議案第63号 | 平成7年度館山市水道事業特別会計補正予算（第1号） |

議案第64号 平成7年度館山市国民宿舎事業特別会計補正予算（第1号）

日程第7 議案第65号 館山市教育委員会委員の任命について

日程第8 発議案第14号 法務局職員の増員に関する意見書について

開 議 午前10時21分

◎議長（辻田 実君） 本日の出席議員数25名、これより第4回市議会定例会第4日目の会議を開きます。

議案の配付

◎議長（辻田 実君） 議案を配付いたさせます。

議案の配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第1、議案第54号乃至議案第57号の各議案を一括して議題といたします。

総務委員会委員長報告

◎議長（辻田 実君） ただいま議題となりました各議案は、12月15日の本会議において総務委員会に付託されたものであります。

よって、これより総務委員会における審査の経過並びに結果につき、委員長の報告を求めます。

総務委員会委員長脇田安保さん。御登壇願います。

（総務委員会委員長脇田安保君登壇）

◎総務委員会委員長（脇田安保君） ただいま議題となりました議案第54号乃至議案第57号に係る総務委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る12月15日の本会議におきまして本委員会に付託されました各議案につ

きまして、18日委員会を招集し、審査を行いました。

以下、その質疑応答等、主なものについて申し上げます。

まず、議案第54号政治倫理の確立のための館山市長の資産等の公開に関する条例の制定についてであります。預貯金等の取り扱い、報告書等の管理保存、虚偽があった場合の罰則規定等について質疑が行われました。

討論において、本条例は、全体の奉仕者たる市長がその地位による影響力を不正に行使して財産をふやすようなことがあってはならないという点で、住民の信頼を確保するためにつくられると考える。内容については、市長だけが対象となっていること、審査会の設置がないこと、市民の調査請求権が明記されていないことなど不十分な点もあるが、市長が住民に対して一定の姿勢を示すことは望ましいことであり、本案に賛成するとの意見がありました。

次に、議案第56号工事委託協定の変更についてであります。日本下水道事業団による一連の不祥事に関して、再発防止をどのように考えているかとの問いに対して、建設省から特別監察として事業団の問題点が指摘された。改善措置条項として5項目が示され、入札方法等について改善が行われたところであるとの説明がありました。

次に、議案第57号平成7年度館山市一般会計補正予算（第3号）であります。まず衛生費中、合併処理浄化槽設置事業補助金について、制度実施以降の推移及び下水道事業の計画区域との関係について説明を求めたところ、昭和62年度にモデル2基を設置以来、増加の傾向にあることが数字で示されました。また、下水道第1期事業区域については対象外である旨が説明されました。

次に、土木費の土地区画整理費において、地上物件等補償費に係る増額について説明を求めたところ、西口地区において、当初見込み以上の移転が見込めることとなったため、補償費を増額しようとするものである。なお、移転の必要な建物89棟中、平成7年度末をもって73棟の移転が終了する予定であり、率にして82%の進捗状況であるとの回答がありました。委員から、住民に対して情報を十分に提供しながら事業の推進に努められたいとの要望が

ありました。

次に、教育費中、豊房小学校校舎耐震補強工事設計委託料についての質疑に対し、耐震設計を既に行っており、今回はそれに基づき、補強の方法についての設計をしようとするものである。他の学校についても、旧耐震基準前のものから順次行っていくとの説明がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第54号乃至議案第57号については、全員一致をもっていずれも原案どおり可決すべきものと決しました。

なお、この際、閉会中実施した行政視察について御報告いたします。

本委員会は、10月10日から12日まで愛媛県新居浜市及び香川県善通寺市を視察いたしました。

新居浜市では、瀬戸大橋開通による地域経済への波及効果について説明を受けるとともに、平成8年3月完成を目指し、現在建設中の新居浜マリーナについて視察を行いました。

善通寺市では、同じく瀬戸大橋開通による経済効果、そして水道問題について、市の現状と、生活用水の確保を目的とする井戸保全条例制定の経緯及び広域行政振興事務組合の機能等についての説明を受けました。

以上御報告申し上げまして、総務委員会委員長報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。— 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

各議案についての委員長報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(辻田 実君) 御異議なしと認めます。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長(辻田 実君) 日程第2、議案第58号平成7年度館山市老人保健特別会計補正予算(第1号)を議題といたします。

文教民生委員会委員長報告

◎議長(辻田 実君) ただいま議題となりました議案第58号は、12月15日の本会議において文教民生委員会に付託されたものであります。

よって、これより文教民生委員会における審査の経過並びに結果につき、委員長の報告を求めます。

文教民生委員会委員長宮沢治海さん。御登壇願います。

(文教民生委員会委員長宮沢治海君登壇)

◎文教民生委員会委員長(宮沢治海君) ただいま議題となりました議案第58号平成7年度館山市老人保健特別会計補正予算(第1号)に係る文教民生委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る12月15日の本会議におきまして本委員会に付託されました本議案につきまして、18日委員会を招集し、審査を行いました。

以下、その質疑応答等、主なものについて申し上げます。

まず、受診件数の減及び医療給付費の増となった原因について説明を求めたところ、当初受診件数を3,461件として計上したが、今回、8月末までの実績に基づき、212件少ない3,249件と見込むものであり、医療給付費については、主に入院費の増によるもので、前年同期に比べ20.49%の増となっているとの説明がありました。

また、65歳以上の人口と1人当たり医療費に関する質疑については、平成7年4月1日現在で1万 1,637人であり、全人口の21.5%、平成6年決算における1人当たり医療費は53万 2,000円となっているとの説明がありました。

歳入に関して、支払基金交付金、国・県支出金及び一般会計繰入金は今回の補正で確定するのかとの質疑に対しましては、現時点での医療費の支出に伴う歳入を見込んだものであるとの回答がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第58号については、全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

なお、この際、閉会中実施した行政視察について御報告いたします。

本委員会は、10月31日から11月2日まで岩手県一関市及び大船渡市を視察いたしました。

一関市では、教養文化体育施設アイドームの視察を行い、大船渡市では、福祉の里センター、養護盲老人ホーム、デイサービスセンターなど9福祉施設を1カ所に集合させた福祉の里整備事業について視察を行いました。

以上御報告申し上げまして、文教民生委員会委員長報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。— 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(辻田 実君) 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長(辻田 実君) 日程第3、議案第59号平成7年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第1号)を議題といたします。

建設経済委員会委員長報告

◎議長(辻田 実君) ただいま議題となりました議案第59号は、12月15日の本会議において建設経済委員会に付託されたものであります。

よって、これより建設経済委員会における審査の経過並びに結果につき、委員長の報告を求めます。

建設経済委員会委員長増田基彦さん。御登壇願います。

(建設経済委員会委員長増田基彦君登壇)

◎建設経済委員会委員長(増田基彦君) ただいま議題となりました議案第59号平成7年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第1号)に係る建設経済委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る12月15日の本会議におきまして本委員会に付託されました本議案につきまして、同日委員会を招集し、審査を行いました。

以下、その質疑応答等、主なものについて申し上げます。

まず、今回の補正に係る事業について内容の説明を求めたところ、今年度から来年度までの予定で既に工事に着手している終末処理場の管理棟及び汚泥処理棟について、一部次年度分を繰り上げ施行するとともに、来年度発注予定であった水処理施設の覆蓋工を前倒し発注しようとするものであるとの回答がありました。

さらに、工事全体の事業費及び進捗状況について説明を求めたところ、第1期事業区域について、処理場関係と管渠を合わせて概算で180億円であるが、平成6年度まで39億8,000万円、20%強の進捗状況である。供用開始予

定は平成11年度当初を予定しているとの回答がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第59号につきましては、全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

なお、この際、閉会中実施した行政視察について御報告いたします。

本委員会は、11月6日から8日まで新潟県新津市及び上越市を視察いたしました。

新津市では、造成事業が完了し、現在順調に企業進出が始まっている新津市工業団地及び集出荷体制の確立と高度情報化社会、高速交通時代に即した園芸振興を進めるために設立された新津市花き総合センターについて視察を行いました。

上越市では、浸食された海岸を取り戻し、より親しみやすい海岸空間を創出するために実施された海岸環境整備事業について視察を行いました。

以上御報告申し上げまして、建設経済委員会委員長報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。— 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり

可決されました。

請願書の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第4、請願第1号、請願第3号及び請願第4号の各請願を一括して議題といたします。

文教民生委員会委員長報告

◎議長（辻田 実君） ただいま議題となりました請願第1号は6月20日、請願第3号及び請願第4号は12月15日の本会議において文教民生委員会に付託されたものであります。

よって、これより文教民生委員会における審査の概要につき、委員長の報告を求めます。

文教民生委員会委員長宮沢治海さん。御登壇願います。

（文教民生委員会委員長宮沢治海君登壇）

◎文教民生委員会委員長（宮沢治海君） ただいま議題となりました請願第1号、請願第3号及び請願第4号に係る文教民生委員会における審査の概要について御報告申し上げます。

請願第1号学習指導要領の抜本的見直しを求める請願書については、平成7年6月の本会議において本委員会に付託され、継続審査となっていたものであります。請願第3号「義務教育費の国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書及び請願第4号「教育予算の増額に関する意見書」採択に関する請願書については、去る12月15日の本会議におきまして本委員会に付託されたもので、18日招集された本委員会において各請願の審査を行いました。

請願第1号の審査に当たっては、教育課程の研究開発学校の対象となっている館山第二中学校長及び北条小学校長を招き、教育の現状等について意見を聞き、審査の参考といたしました。

採決の結果、付託を受けました各請願について、いずれも全員一致により採択するものと決しました。

以上御報告申し上げまして、文教民生委員会委員長報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。— 討論なしと認めます。
よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

各請願についての委員長の報告は採択するものであります。

各請願を委員長の報告どおり採択することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、各請願は採択することに決しました。

日程の追加

◎議長（辻田 実君） お諮りいたします。

ただいま発議案第15号学習指導要領の見直しに関する意見書について及び発議案第16号教育予算の確保及び義務教育費の国庫負担制度の堅持に関する意見書についてが提出されました。この際、各議案を日程に追加し、議題といたしたいと思ひます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、各議案を日程に追加し、議題とすることに決しました。

議案の上程

◎議長（辻田 実君） 発議案第15号及び発議案第16号の各議案を一括して議題といたします。

議案の配付

◎議長（辻田 実君） 議案を配付いたさせます。

（議案配付）

◎議長（辻田 実君） 議案の配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

議案の朗読は省略いたします。

議案の内容説明

◎議長（辻田 実君） 議案の説明を求めます。

10番宮沢治海さん。御登壇願います。

（10番議員宮沢治海君登壇）

◎10番（宮沢治海君） ただいま議題となりました発議案第15号学習指導要領の見直しに関する意見書について、発議案第16号教育予算の確保及び義務教育費の国庫負担制度の堅持に関する意見書について、提案理由を御説明申し上げます。

各議案につきましては、ただいま採択されました請願書の趣旨を体しまして、関係機関に意見書を提出いたしたく、それぞれ6名の賛成者を得まして提案いたした次第でございます。

満場の御賛同を賜りますようお願いいたしまして、提案理由の説明といたします。

◎議長（辻田 実君） 説明は終わりました。

質疑応答

◎議長（辻田 実君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（辻田 実君） お諮りいたします。

各議案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、各議案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

各議案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、各議案は原案どおり可決されました。

請願書の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第5、請願第5号タヌキ・アナグマの徹底駆除に関する請願書を議題といたします。

建設経済委員会委員長報告

◎議長（辻田 実君） ただいま議題となりました請願第5号は、12月15日の本会議において建設経済委員会に付託されたものであります。

よって、これより建設経済委員会における審査の概要につき、委員長の報告を求めます。

建設経済委員会委員長増田基彦さん。御登壇願います。

（建設経済委員会委員長増田基彦君登壇）

◎建設経済委員会委員長（増田基彦君） ただいま議題となりました請願第5号タヌキ・アナグマの徹底駆除に関する請願書に係る建設経済委員会における審査の概要について御報告申し上げます。

去る12月15日の本会議におきまして本委員会に付託されました本請願につきまして、同日招集された委員会において審査を行いました。

市としての対応について説明を求めたところ、有害鳥獣に関しては、農業協力員による被害状況の報告を受けるとともに、駆除については、農協を通じて提出された申請に副申をして安房支庁に進達するものである。県知事の許可によるものであり、市として直接対策を講じることは困難である。なお、安房郡の担当者から成る安房地域野生鳥獣対策連絡会議を組織し、その組織を通じて県に対し要望書を提出しているところであるとの説明がありました。

採決の結果、付託を受けました本請願書につきましては、全員一致をもって採択するものと決しました。

以上御報告申し上げます、建設経済委員会委員長報告を終わります。

◎議長（辻田 実君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。— 討論なしと認めます。

よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

本請願についての委員長の報告は採択するものであります。

本請願を委員長の報告どおり採択することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本請願は採択することに決しました。

日程の追加

◎議長（辻田 実君） お諮りいたします。

ただいま発議案第17号有害鳥獣の被害防止対策に関する意見書についてが提出されました。この際、本案を日程に追加し、議題といたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案を日程に追加し、議題とすることに決しました。

議案の上程

◎議長（辻田 実君） 発議案第17号有害鳥獣の被害防止対策に関する意見書についてを議題といたします。

議案の配付

◎議長（辻田 実君） 議案を配付いたさせます。

（議案配付）

◎議長（辻田 実君） 議案の配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

議案の朗読は省略いたします。

議案の内容説明

◎議長（辻田 実君） 議案の説明を求めます。

8 番増田基彦さん。御登壇願います。

（8 番議員増田基彦君登壇）

◎8 番（増田基彦君） ただいま議題となりました発議案第17号有害鳥獣の被害防止対策に関する意見書について、提案理由を御説明申し上げます。

本議案につきましては、ただいま採択されました請願書の趣旨を体しまして、千葉県知事に対し意見書を提出いたしたく、7名の賛成者を得まして御提案いたした次第でございます。

満場の御賛同を賜りますようお願いいたしまして、提案理由の説明といたします。

◎議長（辻田 実君） 説明は終わりました。

質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（辻田 実君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

討論ありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

議長の報告

◎議長（辻田 実君） なお、この際申し上げます。

各常任委員会における陳情審査結果が報告されております。お手元に配付の印刷書により御了承願います。

議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第6、議案第60号乃至議案第64号の各議案を一括して議題といたします。

議案の朗読は省略いたします。

議案の内容説明

◎議長（辻田 実君） 議案の説明を求めます。

庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 提案理由を御説明申し上げます。

議案第60号館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、本年8月の人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定及び10月の千葉県人事委員会の勧告に基づき、館山市におきましても、一般職の給料、諸手当につきまして、国及び千葉県に準じ、その額を改定しようとするもの

でございます。

次に、議案第61号平成7年度館山市一般会計補正予算（第4号）でございますが、歳入歳出予算の補正といたしまして、歳入歳出それぞれ3,567万9,000円を追加し、総額166億2,729万1,000円としようとするものでございます。

歳出の内容といたしましては、各款における人件費及び下水道事業特別会計繰出金の補正でございますが、これは給与改定等によるものでございます。

これらの財源といたしまして、地方交付税3,567万9,000円をもって充当しようとするものでございます。

次に、議案第62号平成7年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第2号）でございますが、給与改定及び職員の増員に伴う人件費で873万3,000円の追加をお願いするものでございます。

次に、議案第63号平成7年度館山市水道事業特別会計補正予算（第1号）でございますが、給与改定等に伴う人件費で、収益的支出におきまして758万2,000円の追加、資本的支出につきまして80万7,000円の追加をお願いしようとするものでございます。

次に、議案第64号平成7年度館山市国民宿舎事業特別会計補正予算（第1号）でございますが、給与改定に伴う人件費で、収益的支出におきまして139万6,000円の追加をお願いしようとするものでございます。

よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

◎議長（辻田 実君） 説明は終わりました。

質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（辻田 実君） お諮りいたします。

各議案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(辻田 実君) 御異議なしと認めます。よって、各議案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長(辻田 実君) これより討論を行います。

討論はありませんか。— 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長(辻田 実君) これより採決いたします。

採決は一括して行います。

各議案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(辻田 実君) 御異議なしと認めます。よって、各議案は原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長(辻田 実君) 日程第7、議案第65号館山市教育委員会委員の任命についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

(書記朗読)

◎議長(辻田 実君) 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長(辻田 実君) 議案の説明を求めます。

庄司市長。

(市長庄司 厚君登壇)

◎市長(庄司 厚君) 議案第65号館山市教育委員会委員の任命について、提案理由を御説明申し上げます。

館山市教育委員会委員中、伊藤昌彦さんが平成7年12月25日をもって任期が満了いたしますが、引き続き伊藤さんを適任と考え、任命いたしたいと存じます。

御賛同賜りますようお願い申し上げます。

◎議長(辻田 実君) 説明は終わりました。

質 疑 応 答

◎議長(辻田 実君) これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長(辻田 実君) お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(辻田 実君) 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長(辻田 実君) これより討論を行います。

討論ありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長(辻田 実君) これより採決いたします。

教育委員会委員の任命について同意を求める件は、これに同意することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(辻田 実君) 御異議なしと認めます。よって、教育委員会委員の任命について同意を求める件は、これに同意することに決しました。

議案の上程

◎議長(辻田 実君) 日程第8、発議案第14号法務局職員の増員に関する意見書についてを議題といたします。

議案の朗読は省略いたします。

議案の内容説明

◎議長(辻田 実君) 議案の説明を求めます。

13番脇田安保さん。

(13番議員脇田安保君登壇)

◎13番(脇田安保君) ただいま議題となりました発議案第14号法務局職員の増員に関する意見書について、提案理由を御説明申し上げます。

本議案につきましては、委員会において了承できるものと決しました陳情書の趣旨を体しまして、関係機関に意見書を提出いたしたく、7名の賛成者を得まして提案した次第でございます。

満場の御賛同を賜りますようお願い申し上げまして、提案理由の説明いたします。

◎議長(辻田 実君) 説明は終わりました。

質疑応答

◎議長(辻田 実君) これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（辻田 実君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

討論ありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

採決は起立により行います。

本案を原案どおり可決することに賛成の皆さんの起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（辻田 実君） 起立多数であります。よって、本案は原案どおり可決されました。

閉 会 午前11時04分

◎議長（辻田 実君） 以上で本定例会に付議されました案件は議了いたしました。

よって、これにて第4回市議会定例会を閉会いたします。

◎本日の会議に付した事件

1 議案第54号乃至議案第65号

1 請願第1号、請願第3号乃至請願第5号

1 発議案第14号

1 日程の追加・発議案第15号乃至発議案第17号

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

館山市議会議長

館山市議会副議長

館山市議会議員

館山市議会議員

